



4月から始まった 「IT講習会」をご存じですか？



村上 瑠衣 リポーター
(有浦3丁目)

IT講習会

とは、市民が少しでも

パソコンに触れ、基礎技能を習得するために開催する講習で、このIT講習会は成人の大館市民ならだれでも受講できるというものです。この講習会では、パソコンの基本操作や文書の作成、インターネットや電子メールの利用などの基本的な技能を、十二時間の講習で学習します。

今年度は千五百人の市民を目標に実施しており、四月・五月の受講者を募集したところ、定員百四十六人に対し四百三十五人の応募があり、女性の応募が全体の六五%という特徴になっています。最高年齢者は七十九歳で、とても幅広い年齢層で実施されていることが分かりました。

私は、

中央公民館で五月十二日から二十五日まで行われていた講習会の最終日を見学させていただくことができました。九人の生徒さんに講師のかたが一人という形で行われてお

り、見学に行ったときは、ちょうどメールの送受信のしかたなど最終段階でした。やはり、受講生同士でのメールのやり取りでは、皆さん送られてくるとうれしいように画面にくぎ付けの様子でした。

講習会の終了後、

田中さん、林野さん、久米さん、鎌田さんの女性四人のかたにお話



受講生はいつも真剣そのものの。技術が身についただけの便利さを実感できます。

くさん情報を得られることに大変興味を持ったそうです。また、講習会に参加し、いろいろな年齢の方々と一緒に勉強できたことがとても楽しかった、と話してくださいました。林野さんは老化防止のため、さらにインターネットで買いたい物など、幅広い生活に役立つ情報をこれからの生活に役立てていきたい、とおっしゃっていました。また、実際にパソコンに触れてみなければなかなか分からないので、また機会があったら参加し、もっと技術を向上させていきたいと話してくださいました。

久米さんがこの講習会に参加したいと思ったのは、パソコンについて以前から興味があり、操作方法を知りたいと思っただけで、回を重ねるごとに、基本ではあるけれども、着実に身につけていくのが分かるのでとてもやりがいがあり、早速パソコンを購入したいと話してくださいました。鎌田さんは、これからIT社会になっていくので、時代の流れに遅れないためにも参加しましたが、始まるまでは自分のような高齢者にも本当に

を伺うことができました。なぜこの講習会に参加しようと思ったのかという質問をしたところ、田中さんは会社の業務の中で必要だし、インターネットやメールの初歩などを学習したかった、と話してくださいました。また、メールの使用方法やホームページを通して

自分のような高齢者にも本当に

きるのか大変不安だったということとです。機械に触れるのも初めてで、講習中はテキストを見ながら、先生のお話を聞きながら、そして隣の同じ受講生のかたに手伝っていただきながら、あつという間に講習期間が過ぎてしまったということとです。やはり、独学では使いこなすのは無理だったかも知れない、と話してくださいました。

皆さん口々に

楽しかった、

先生の指導が分かりやすかった、また機会があったら参加したいなどとおっしゃっていました。十二時間という短い時間で、全部覚えるというのはとても大変なことだと思えます。でも、この講習会で学習したことが、家でインターネットやメールをするとき、職場で活用するときに、少しでも思い出すことができればこの講習会に参加した成果があると思います。もっとたくさん市民の皆さんがパソコンに触れることができれば、もっと街が活気づくのではないかなあと思いました。



受講生から話を伺う村上リポーター